2007 年度

科目名	対象学科・学年	担当者
総合演習Ⅰ	教育教福１回生	三宅　奎介

授業テーマ

現在の社会の問題点を広く理解し、課題の解決に向けての研究をすすめる。

授業の概要と目標

今、社会は激しく変化している。地球温暖化はなぜ起こるのか。エネルギー問題は何をもたらすか。また、冷戦後の世界は人間尊重の方向を歩んでいるのか。開発途上国はどうなっていくのか。さらに、２１世紀の日本はどうなるのか。何が問題なのか。

本演習では受講者が各自（グループ）が課題を見つけ、テーマを設定し、多様な観点から調査・研究をすすめる。そして、問題解決のために発表・討論しながら授業をすすめる。

評価方法

授業目的の到達度の判断として

①発表内容（５０％　）②討論への主体的参加および授業への姿勢（２５％）③自己および相互評価（２５％）

を基準に総合的に決定する。

テキスト	著者	出版社
なし		

参考書	著者	出版社
適宜、参考書籍を紹介する。		

授業スケジュール・内容

第１講　オリエンテーション
・授業の内容と演習のすすめ方　・自己紹介

第２講　今の世の中にどんな課題があるのだろう
・自然環境から　・国際社会から

第３講　研究課題の設定
・現在の学校教育の課題の上に立ち、研究課題を検討し、計画を作成する。

第４講　美しい地球を未来に残せるか
・開発と環境破壊　・食料問題

第５講　人間はどうして豊かになれないのか
・開発途上国の生活実態　・ユニセフやNPO の活動

第６講　**実践アクセス講義**（現地学習）　国連の教育課題に迫る　（ユニセフ大阪支部指導員の講和）
・国連ユニセフ活動から学ぶ

第７講　課題解決の追求・研究①
・実地調査・見学、調査資料・記録等を収集し、研究報告の作成をする。

第８講　課題解決の追求・研究②
・実地調査・見学、調査資料・記録等を収集し、研究報告の作成をする。

第９講　課題解決の追求・研究③
・仲間づくりの実践　・グループ活動の企画・交流

第１０講　研究報告会・評価会①
・研究結果について口頭・パネル等で発表する。ならびに自己評価と相互評価をする。

第１１講　研究報告会・評価会②
・研究結果について口頭・パネル等で発表する。ならびに自己評価と相互評価をする。

第１２講　研究報告会・評価会③
・研究結果について口頭・パネル等で発表する。ならびに自己評価と相互評価をする。

第１３講　研究報告会・評価会④
研究結果について口頭・パネル等で発表する。ならびに自己評価と相互評価をする。

第１４講　課題の整理と研究のまとめ

第１５講　定期試験